



平成30年度 夢の卵表彰式



- ① 医師
- ② サッカー選手
- ③ パティシエ・菓子職人
- ④ 野球選手
- ⑤ 保育士



<今年度の短期入門者数と応募数>

応募数	小学生の部	1,325作品	中学生の部	804作品
表彰	小学生の部	優秀賞（短期入門）2名	佳作	15名
	中学生の部	優秀賞（短期入門）2名	佳作	13名

中学生の部（応募数804作品）

大地震を100%の確率で予測できる 研究者になりたい

高岡市立中田中学校2年 篠田 真吾 さん

プレートの活動に注目することで地震の予測ができないかと考え、その観測方法について研究し、大地震の被害を減らしたいという強い向学心と正義感を持って、名古屋大学減災連携研究センターに入門しました。



将来はぜひ地震予知につながるような研究をして、少しでも被害を減らすために役立ちたいと思うと同時に、我々が今できることは、普段から減災のための備えをしておくことだと感じました。



VRゴーグルで大地震を擬似体験しました。



緊急地震速報について教わりました。



福井県立大学海洋生物資源臨海研究センターを見学しました。



定置網の網上げを体験しました。

今後の日本の海を守る漁師になりたい

富山市立城山中学校2年 村上 統哉 さん

近年の水揚げ量の減少から、将来の漁業に不安を覚え、それを解決するためには、養殖の研究や技術開発が不可欠だと考えました。そして自らがその研究に取り組み、将来の日本の漁業と食文化を守りたいという強い意欲を持って、福井県立大学海洋生物資源学部に入門しました。



「日本の海を守る」ためには、環境に優しい養殖漁業は必要だと感じました。また、その養殖を支えるためにも、地域の産学官が一体となって「小浜よっぱらいサバ」のブランド化に努力しておられる様子を見させてもらい、とても勉強になりました。また、早朝からの定置網漁体験、そしてその魚が出荷、競り落とされるまでの一連の流れを見学できたことは、とてもいい経験になりました。